

# 市内の出来事

～ つくばみらいのわだい ～

## 春の叙勲、危険業務従事者叙勲

このほど、平成20年度春の叙勲および危険業務従事者叙勲の受賞者が決まりました。本市から2人の方が受章の栄誉に輝きました。

### ◆瑞宝双光章・厚生行政事務功労

萩原 廣茂氏 元厚生省大臣官房会計課庁舎管理室長  
(絹の台・70歳)



「喜びの声」  
「当時内戦中だったミャンマーやほかの国との契約行為が認められ、今回の受章をいただいたと思います。現在は、社会福祉法人竹育会の理事長として活動しています。これからも地域のために貢献していきたいと考えております。」

### ◆瑞宝単光章・消防功労

赤川 三郎氏 元東京消防庁消防司令長 (伊奈東・65歳)



「喜びの声」  
「今回の受章は、諸先輩方、そして地域の皆さまのおかげと深く感謝しております。救急救命士として救急活動に従事できたことを誇りに思っています。」

萩原さんは、総務大臣官房査室長補佐、厚生省大臣官房会計課庁舎管理室長などを歴任され、厚生行政業務に29年間にわたり尽力されました。

赤川さんは、昭和38年に東京消防学校に入学後、練馬消防署を始めとして、大森消防署、上野消防署など都内の消防署に勤

つくばみらい市産の美味しいお米づくり

## コシヒカリオーナー家族が

## 初めての田植え体験

5月17日、市野深のつくばみらい市コシヒカリオーナー体験ほ場(90a)で、県内外からオーナーと家族約240名が参加し、快晴の青空のもと田植え体験を楽しみました。

当日は、米づくりのプロである認定農業者の張替文夫さんの指導を受け、大人から子どもまで泥だらけになりながら、初めての田植えを体験し、安全安心な米づくりに心地よい汗を流していました。

この事業は今回が1回目。地元産の美味しいお米を広く知ってもらおうと始めたもので、コシヒカリオーナーの募集をしたところ、当初予定の23区画から80区画に増やすほどの人気で、県内外から多数の応募がありました。



米づくりの大変さと楽しさを味わうオーナー家族の皆さん

今後は、草刈り作業を体験し、秋には60kgの特別栽培米(農薬・化学肥料の使用が慣行の50%以下)がオーナーに進呈されます。